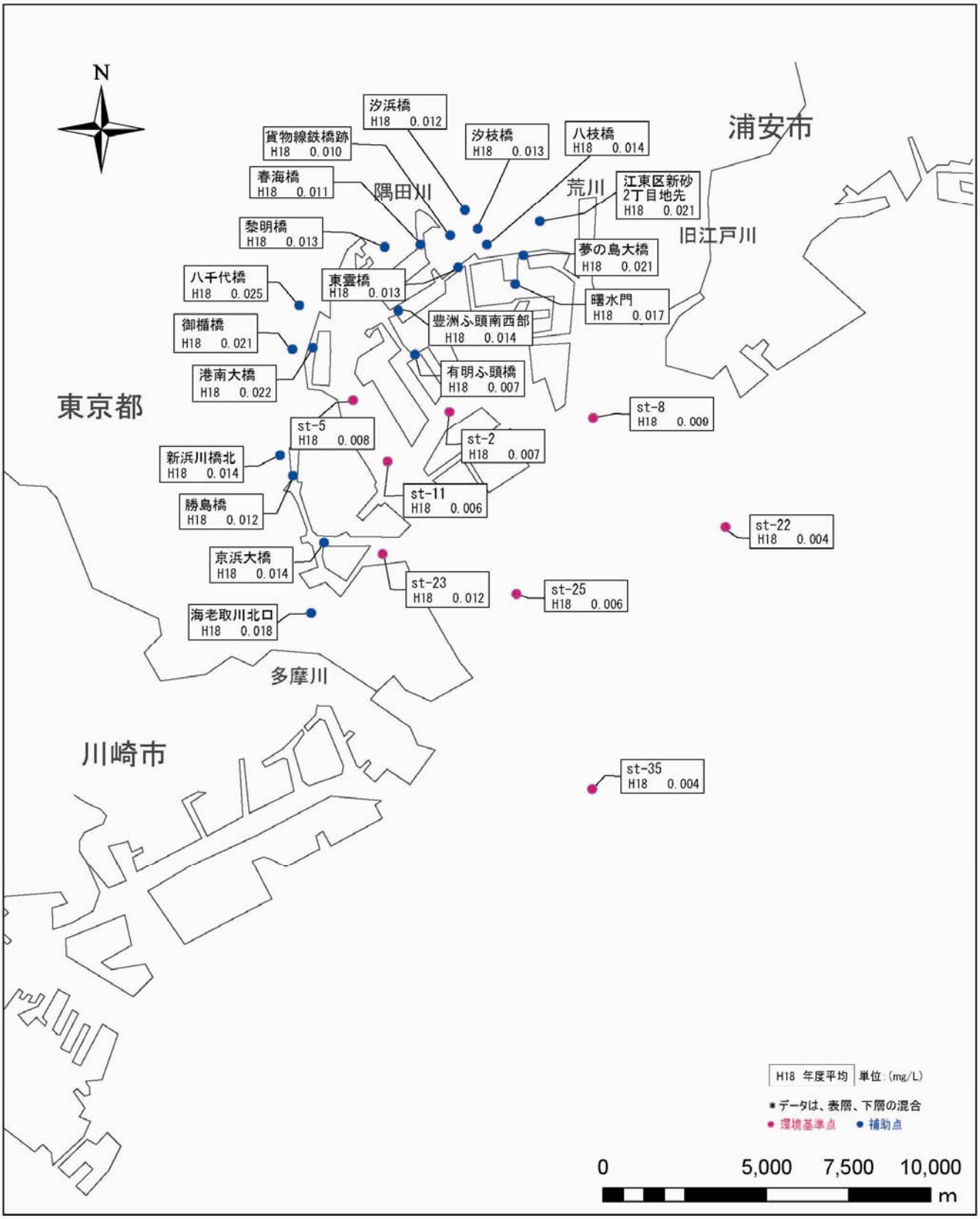
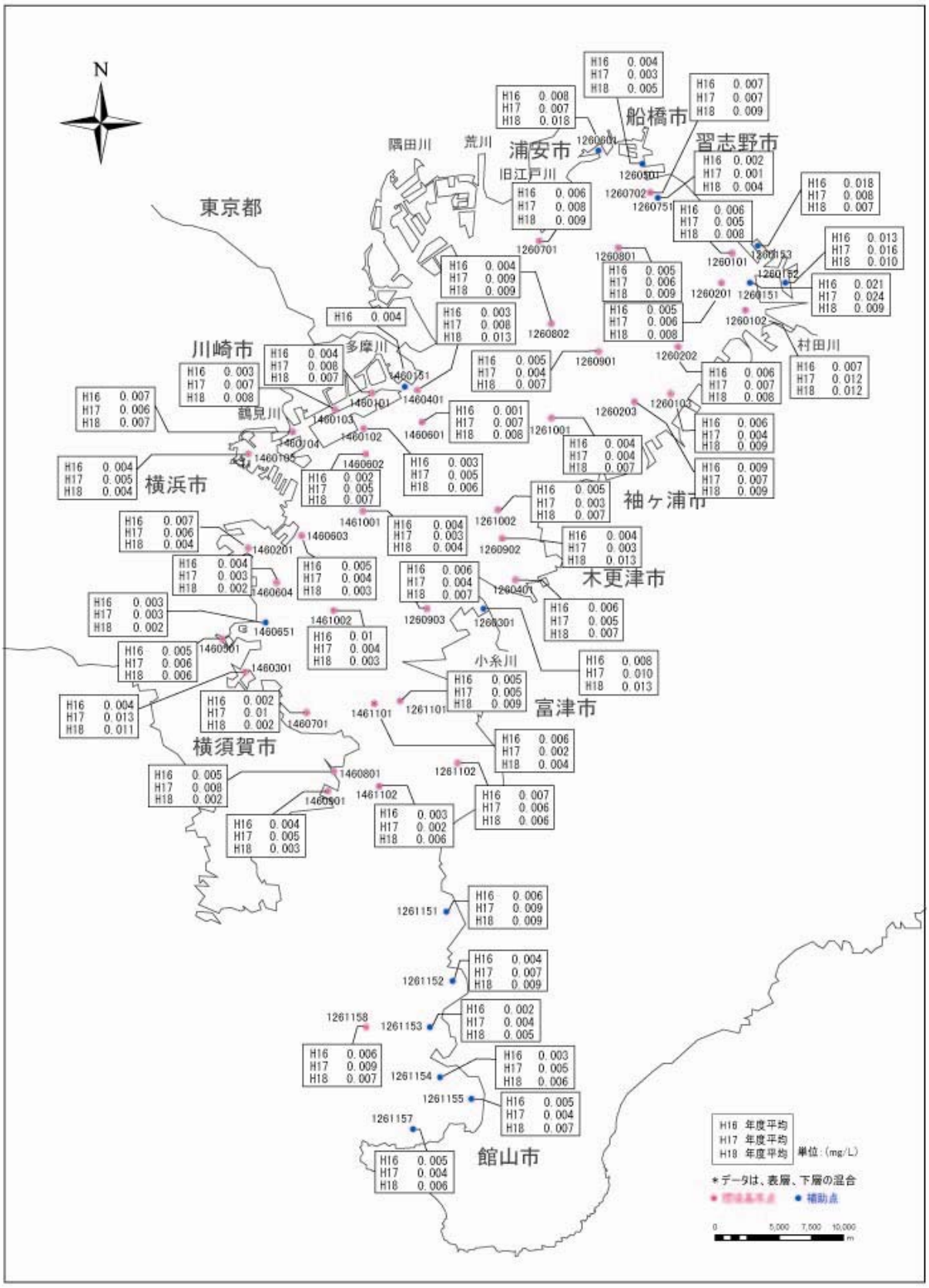


全亜鉛（東京都）

出典：公共用水域データより作成

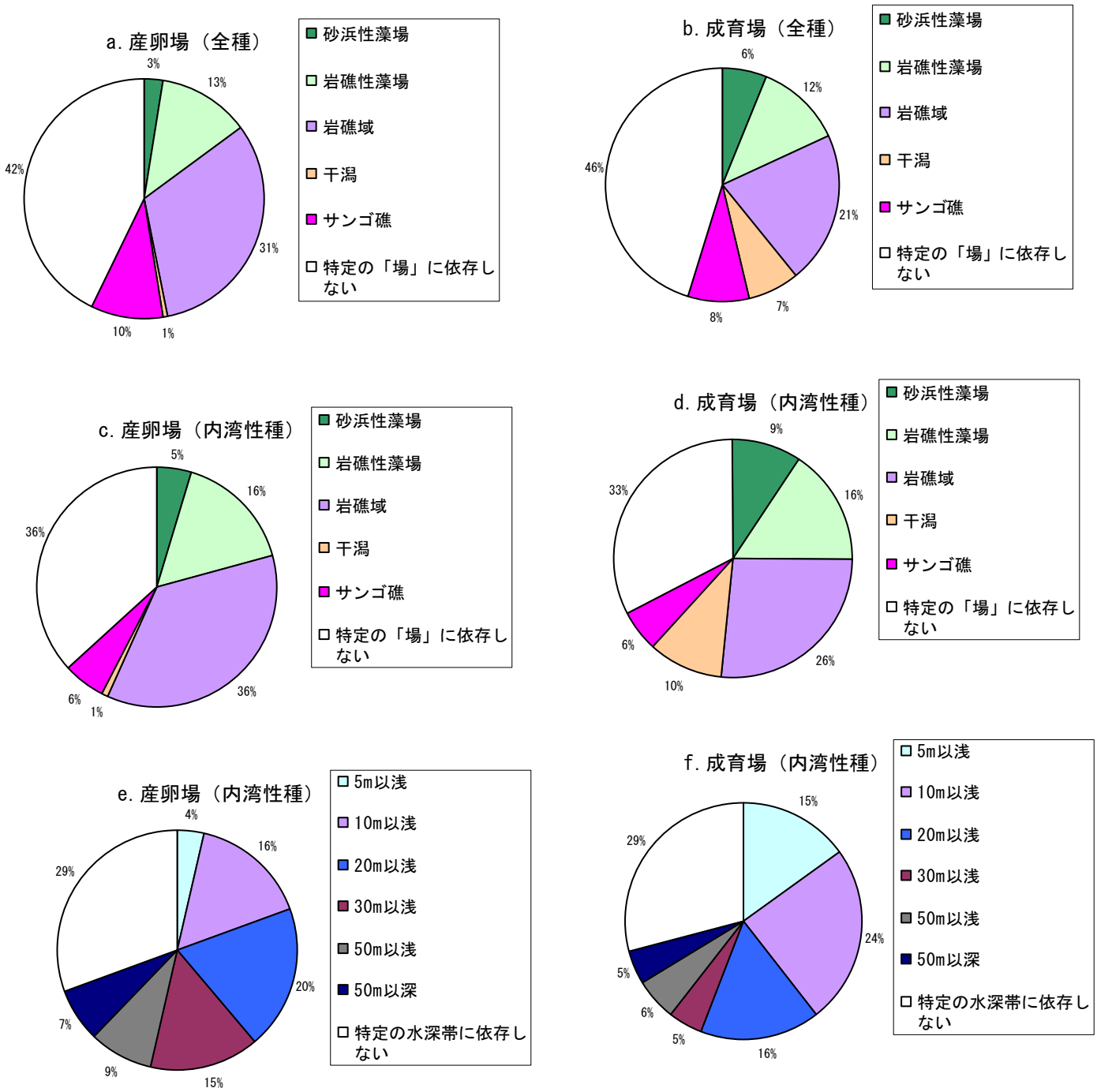
図１０．２（１）　東京湾における全亜鉛の濃度分布（東京都）



全亜鉛（千葉県・神奈川県）

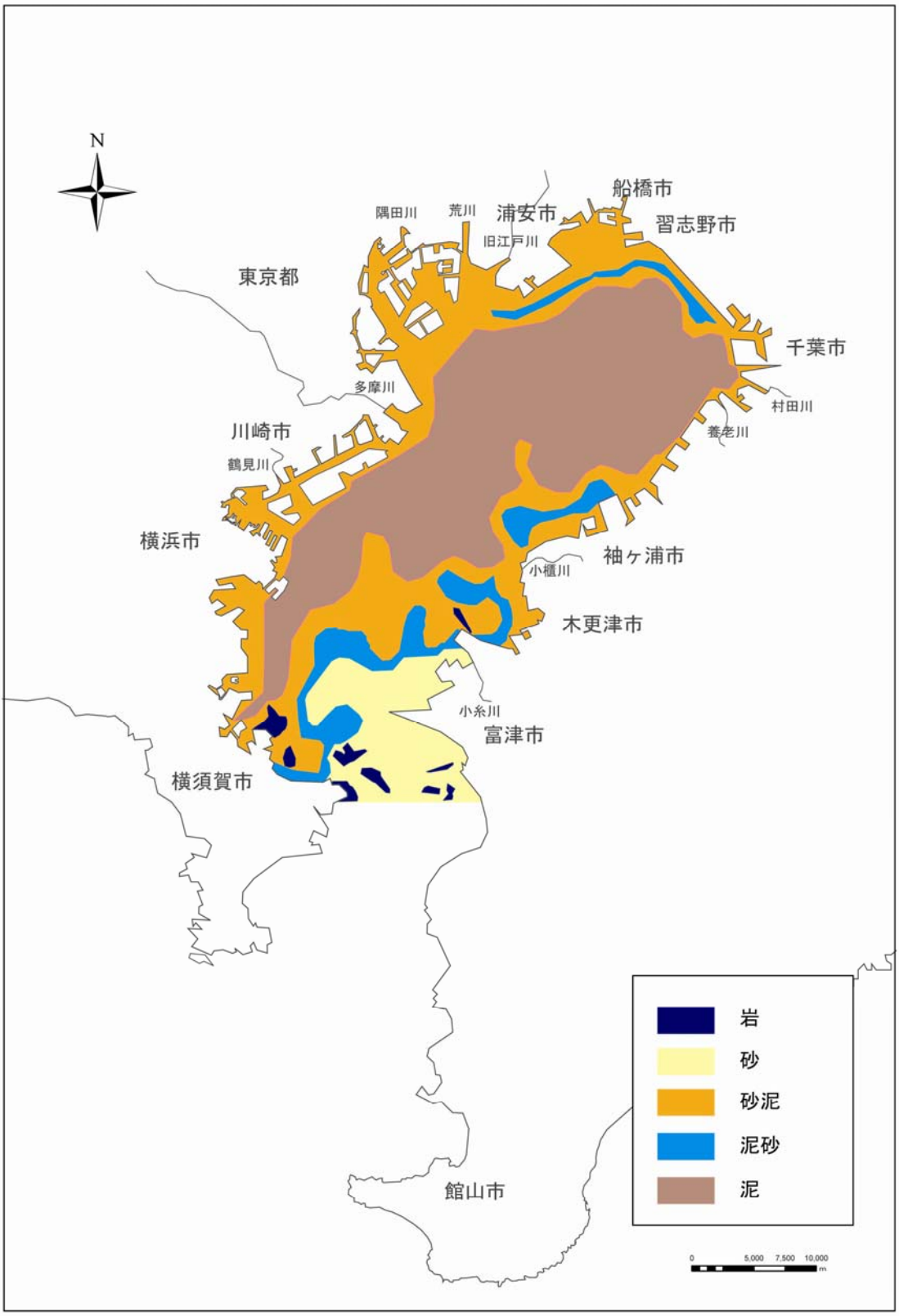
出典：公共用水域データより作成

図１０．２（２）　東京湾における全亜鉛の濃度分布（千葉県・神奈川県）



出典：沿岸漁場整備開発事業施設設計指針　平成４年度版　（社団法人　全国沿岸漁場振興開発協会, 1993）
沿岸至近域における海洋生物の生態知見（魚類・イカタコ類編）　（(財) 海洋生物研究所, 1991）
沿岸至近域における海洋生物の生態知見（貝類・甲殻類・ウニ類編）　（(財) 海洋生物研究所, 1991）
新版魚類学（下）改訂版　（落合明・田中克, 1998）
水産生物の生活史と生態（(社) 日本水産資源保護協会, 1985）
水産生物の生活史と生態（続）（(社) 日本水産資源保護協会, 1986）
水生生物生態資料（(社) 日本水産資源保護協会, 1981）
水生生物生態資料（続）（(社) 日本水産資源保護協会, 1983）
環境が水産動物および漁業に及ぼす影響を判断するための「判断基準」と「事例」（(社) 日本水産資源保護協会, 1994）
日本の海水魚　（㈱山と渓谷社, 1997）

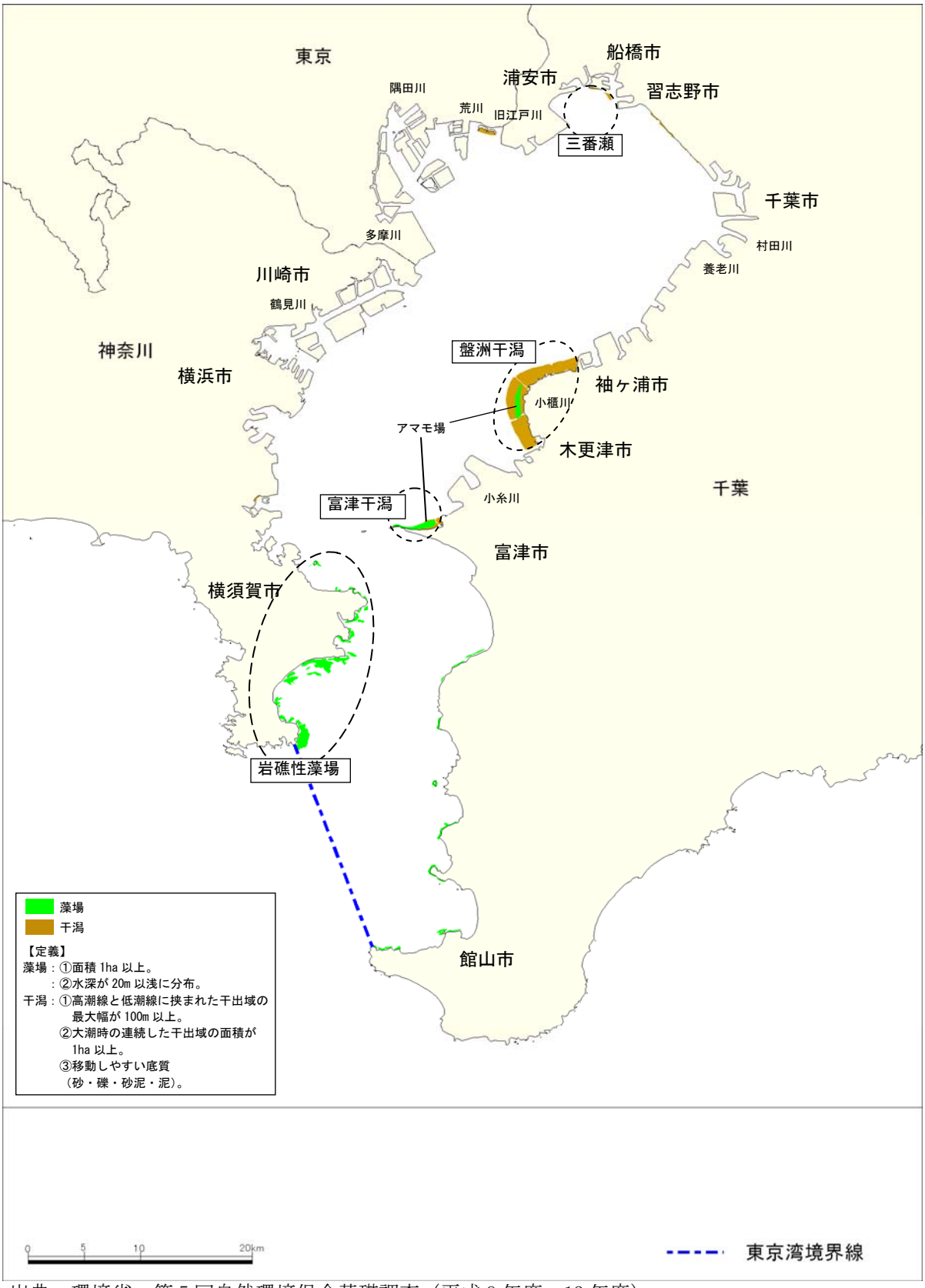
図１０．３　日本の主要な有用魚介類が産卵場や成育場として利用する「場」及び水深帯の組成



底　質

出典：水産庁　昭和56年度漁場改良復旧基礎調査報告書より

図１０．４　東京湾の底質分布



出典：環境省　第 5 回自然環境保全基礎調査（平成 9 年度～13 年度）

図１０．５　東京湾における主要な干潟・藻場の分布

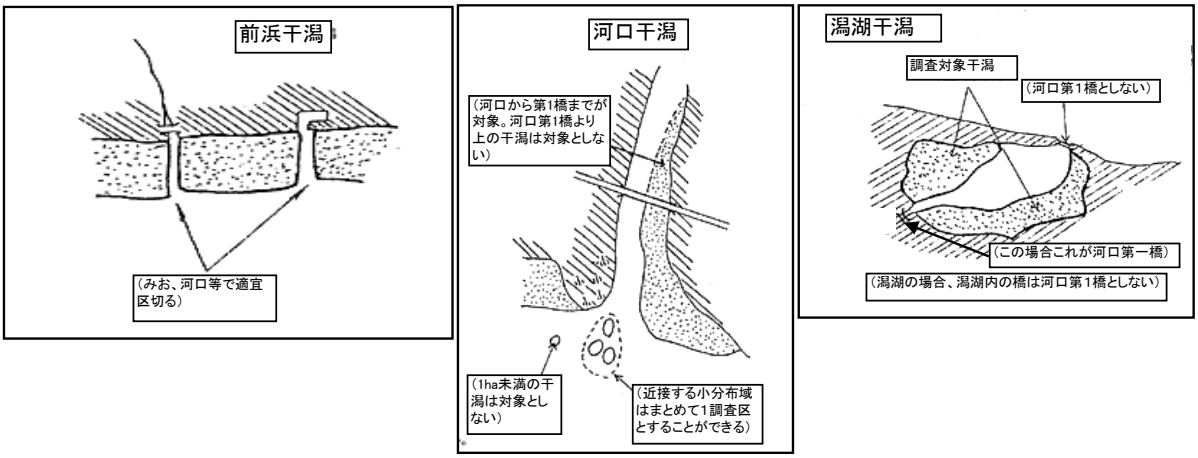
表１０．２　東京湾における干潟のタイプと面積

都県	地名		干潟タイプ	底質	面積(ha)
千葉県	盤洲干潟（約1400ha）	畔戸地先	前浜	砂泥	493.8
千葉県		木更津港北	前浜	砂泥	358.4
千葉県		中島高須	前浜	砂泥	345.0
千葉県		牛込高須	前浜	砂泥	210.5
千葉県	富津干潟（145.6ha	富津公園地先	前浜	砂泥	118.2
千葉県		富津港北	前浜	砂泥	27.4
千葉県	三番瀬（27.4ha）	千葉港地先干潟	前浜	砂泥	16.6
千葉県		船橋海浜公園地先	前浜	砂泥	10.8
神奈川県	金沢		前浜	砂泥	20.0
千葉県	幕張の浜		その他	砂泥	16.6
東京都	高州		人工干潟	砂泥	16.0
東京都	多摩川河口（河川内を除く）		河口	砂泥	11.5
千葉県	いなげの浜		その他	砂泥	9.6
千葉県	豊砂地先海浜		その他	砂泥	9.2
千葉県	検見川の浜		その他	砂泥	6.8
千葉県	木更津港内		前浜	砂泥	6.5

注１）対象干潟　・高潮線と低潮線に挟まれた干出域の最大幅が100m以上であること。
・大潮時の連続した干出域の面積が１ha以上であること。
・移動しやすい底質（砂、礫、砂泥、泥）であること。

注２）干潟タイプ　下図のとおり前浜・河口干潟・潟湖干潟及びその他（人工干潟等）に分類される。

注３）調査区設定方法　現存干潟の調査区設定・面積等把握の際には、原則同タイプの干潟が連続的に分布する範囲（分布域）を１調査区とする。ただし、分布域が長大な場合は、河口、みお、航路、岬角等の地形で適宜区分することができる。各タイプの調査区設定は区分基準（下図のカッコ内）に準ずる。



注４）底質：　礫：粒径２mm以上
砂：0.1～２mm
泥：0.1mm以下
砂泥：砂と泥の混合

注５）河川内の干潟は除いた。

出典：環境省　第５回自然環境保全基礎調査